

〈辰巳委員〉

村内在住の外国籍の方の買い物が不便で店がないが、村として支援策は。

〈住民福祉課長〉

現在、毎週火曜日の昼頃にイデアITカレッジで移動販売を行っている。

〈岡委員〉

ワインプロジェクトのブドウ肥培管理契約状況は。

〈村 長〉

今は、農政課が管理している。土地所有者とは年間約20万円で契約は進んでいる。ブドウの管理は何も決まっていないので、これから進めていく。

〈橋本委員〉

- ①土地は、一年更新になるのか。
- ②土地所有者転作奨励金10a当たり金額は。
- ③水田は水張りルールがあり、水を張れば根腐れを起こしてしまう。水張りせず栽培を続けた場合、転作奨励金は村が負担していくのか。

〈農政課長〉

一年契約で更新していく。
本人が申請手続きをしていない。



ブドウ栽培の現地

〈笠野委員〉

雨水湛水事業説明会の参加者は。面積とどの地区の農家が多かったか。

企業版ふるさと納税による支援社数と金額は。
事業参加農家が少ない時の企業への説明は。

〈農政課長〉

説明会は参加者なし。現在、申請者14件、12.5haを見込んでいる。両併・白川・一関の実施者が申請している。

2社で200万円、今後1社が寄附される予定。

支援企業は3か年計画の初年度申請実績説明を行い、今後は参加農家が増加するよう、啓発と説

明会を行っていく。

〈村 長〉

今年は、試験的に始める事で10.20ha程度で実施した。結果が良いとの事であれば、面積も広げ、企業にも働きかけを行っていく。地下水涵養の調査は東海大学で行い、調査費で高森町と南阿蘇村で75万円、150万円でやっていただく。

〈今村輝宏委員〉

現状、あと1社で合計300万円。残金は企業版ふるさと納税ではお返しできないので、他の事業に活用するのか。

〈村 長〉

企業版ふるさと納税は熊本阿蘇の景観と地下水を保全する事業に寄附を頂くわけで、地下水保全基金に寄附を載せて、基金の中から水田の維持、草原の維持等の活動に使っていきたい。

〈今村竜喜委員〉

南阿蘇鉄道(株)新体制、新聞報道で社長が変わった事を知った。南鉄事業関係の進捗、取締役の内容について、これまでに何の報告もない。現状報告、村長の見解は。

〈村 長〉

今までの経過は、詳しく説明しておくべきであり、本当に反省している。南阿蘇鉄道の経営は現場を知る人が社長をしたほうが良いとの事で、今の体制になった。上下分離で下部が一般社団法人南阿蘇鉄道管理機構の会社、4名の理事がおり、駅舎が多いとの事で南阿蘇村が代表理事になっている。

〈今村竜喜委員〉

その都度の情報を時系列で頂くと、情報が広く多く共有できた。今後は内容の状況を報告、連絡、相談をお願いする。

新会社の管理機構、組織図と業務分担、仕事の役割と分かりやすい資料の提示をお願いする。



新しくなった高森駅周辺